

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

作製日 2021/6/18

事業ID	290	2次評価 対象外事業	③町、議会、委員会及び附属機関等の運営に係る事務事業	分野	6	06 6防災・防犯	課名	地域防災課
事業コード	00002			基本施策	1	01 1災害に強いまちづくり	班名	防災班
事業名	消防団運営事務			大施策	2	02 2防災体制の充実	担当者	小玉浩之
				小施策	3	03 3消防・救急体制の充実	副担当	津坂哲男

◆事業の説明

◆事業の予算

(単位:千円)

事業の概要	消防団の運営に係る事務の実施。	会計	001	款項目	08	01	02	大事業	000200000 消防団運営費	
				R3決算額		R4決算見込額		R5事業費	R6事業費	R7事業費
		直接事業費		21,876						
		人件費		4,313						
補足説明	消防団員の報酬、福利厚生、安全装備品の整備等に関する事業を実施。	事業費合計		26,189						
		国庫支出金		0						
		県支出金		0						
根拠法	消防法、消防組織法、消防団の装備の基準	地方債		0						
計画等	中井町地域防災計画	その他		0						
		一般財源		26,189						

◆事業の対象・活動・成果

◆事業の指標

対象 (誰・何に)	消防団員	対象 (誰・何に)	指標	単位	R3実績	R4見込	R5計画	R6計画	R7計画
			消防団員数	人	125	125	128	128	0
活動 (何を)	運営に係る事業を実施する。	活動 (何を)	火災出動	回	0	0	2	2	0
					0	0	0	0	0
成果 (めざす形)	消防団の活動充実・安全を確保することにより、もって民生安寧に資する。	成果 (めざす形)			0	0	0	0	0
					0	0	0	0	0

◆事業の現況評価

◆事業の状況・課題・提案・方針

必要性	事業の必要性は薄らいでいませんか？ [5点] ますますニーズは高くなっている		状況	消防団員の安全装備品の整備を行っていることから、事業のコストは高まっているが、消防団としての活動状況から、団員の安全確保は必要不可欠である。消防団員の確保対策として、出動報酬等の改善を行った。また、MT車の消防自動車を運転できるようAT車限定解除に係る免許取得取得費用の補助金事業を検討した。		
必然性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [5点] 行政(町)が関与する必然性が高い		課題	新入団員の確保 平日昼間に出勤可能な団員の確保 自動車免許制度の改正により運転可能な免許への取得が必要となってくる。		
緊急性	即座に対応しなければならない事業ですか？ [5点] ますます緊急性は高くなっている		提案	新入団員の確保、常備消防との連携強化に係る検討を行う必要がある。 平日昼間の火災に対応する機能別消防団員制度を検討する必要があると考える。 また、定数の見直しや、分団再編が将来的にあると考える。		
実効性	手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [5点] 効果や影響が十分表れている		方針	消防団員の確保に随時努める。		
時代即応性	事業の目的が色あせていませんか？ [5点] 時代の変化や課題に対応している		一次評価 (主管課)	①拡大・拡充	二次評価 (内部評価)	-
持続可能性	やればやるほど職員の負担となっていないですか？ [5点] 中・長期的に持続可能である		評価理由	火災発生時の初期消火活動、常備消防の後方支援だけでなく、自然災害発生時における支援者として、日頃より訓練を行う消防団員の必要性は非常に高いため、事業の有効性も高いと考える。		